

part 1
子ども時代～青春時代
ウィーン時代・導師との出会い

3月17日(土) ● 19:00～21:00

大自然と当時の最先端のハイテクである鉄道に関わる環境で育ったシュタイナーの出逢いの数々。しかし、シュタイナーの導師って、いったい誰なのでしょう？

part 2
ボヘミアンと霊的探求・第一次大戦
ゲーテ研究・ワイマール/ベルリン時代

4月21日(土) ● 19:00～21:00

今でいうと、パンカー、ロッカー、過激なアーティストのような人たちとつき合っていたシュタイナー。神智学との出会い、人智学協会の設立。そして第一次大戦の勃発が大きな転機に。

part 3
第一次大戦後・ゲーテアナム
人智学の展開と社会運動

5月19日(土) ● 19:00～21:00

第一次大戦の廃墟のなかで霊性が社会性へと変容し、文化改新運動が始まる。そこにヒトラーの影が…。82歳まで生きると云っていたシュタイナーに死が訪れる。

オープンフォーラム早稲田
地下鉄東西線早稲田より徒歩5分

参加費 ● 6,000円(全コマ前納)
5,000円(2コマ)
2,500円(1コマ)

お申し込みは tel、fax または mail にて
参加者氏名・住所・TEL をご連絡下さい。

フォーラム・スリー
tel. 03-5287-4770
fax. 03-5287-4771
info@forum3.com

主催
フォーラム・スリー



その生涯と実像

ルドルフ・シュタイナー研究
小林直生さん連続講座 V、VII

20世紀最高の秘儀参入者ルドルフ・シュタイナーの本当の姿とは？——シュタイナーを聖人化し、清く愛に満ちた姿を強調する雰囲気はヨーロッパにも日本にもあるようです。怒りやすく、冗談好きで、弟子に猛烈に厳しく、しかし時には限りなく寛容でお金を集めるのが上手かったシュタイナー。人間的な判断の間違いをたくさんし、自分の死期を予知できなかったシュタイナー。——強さだけでなく、弱さやしたたかさをもつ人間だからこそ、シュタイナーは現代の秘儀参入者にふさわしいのです。(小林直生)



ヨーロッパでも高い評価を受けている小林直生さんのルドルフ・シュタイナー研究をすべて公開します！

小林直生さん

キリスト者共同体司祭。1954年札幌生。1978年渡独、キリスト者共同体大学全過程終了後、1985～1999年ドイツで司祭として活動、同時にシュタイナー学校での宗教教育にあたる。1999年帰国。2000年6月に3人の司祭とともに日本のキリスト者共同体を創設。